

目 次

概要

1 設立経緯	9 - 3
2 設置目的	9 - 3
3 事業の概要	9 - 3
4 平成15年度の主な事業実績	9 - 4
5 施設の概要	9 - 6
6 組織	9 - 7
7 県との関係	9 - 9
8 財務の状況	9 - 10

実地監査年月日

実地監査年月日	9 - 14
---------------	--------

監査結果 指摘事項

(契約事務について)

1 入札手続について(共通)	9 - 14
----------------------	--------

(物品管理について)

2 備品等に係る管理手続について(共通)	9 - 14
3 備品等の除却処理について(共通)	9 - 15
4 切手、はがきの管理及び会計処理について(共通)	9 - 16

(会計事務について)

5 計算書類総括表作成の必要性について(共通)	9 - 17
6 退職給与引当金計上の必要性について	9 - 18
7 宝くじコンサート契約書に係る入金処理について	9 - 19

意見

(契約事務について)

1 指名競争入札における指名業者の選定理由について(共通)	9 - 20
2 指名競争入札における指名業者の固定化について	9 - 20
3 指名競争入札における指名業者数の減少について	9 - 21
4 積算価格の精度見直しの必要性について(共通)	9 - 21

5	見積合せを実施していない随意契約(いわゆる1者随意契約)について (共通)	9 - 22
(物品管理について)		
6	現金出納管理について(共通)	9 - 24
(会計事務について)		
7	賞与引当金計上の必要性について(共通)	9 - 24
8	人件費の計算書類上の表示について(共通)	9 - 24
9	資産と費用の区分経理について	9 - 24
10	施設使用料など県の資産としての現金管理について	9 - 25
11	事務処理の合理化について	9 - 26
12	特別会計(県民会館自主事業)について	9 - 26
(県と出資団体との関係について)		
13	県派遣職員に対する人件費負担のあり方について(共通)	9 - 27
14	委託料の精算方式について(共通)	9 - 27
15	県と事業団との管理委託契約における備品等の管理について	9 - 27
16	固定資産取得に関する予算措置区分の明確化について	9 - 27
(管理運営状況について)		
17	財務の状況について	9 - 28
18	理事会の強化について(共通)	9 - 29
19	経営戦略会議の活用について(共通)	9 - 29
20	組織統合による効率性の追求について	9 - 29
21	指定管理者制度への対応について(共通)	9 - 30
22	中長期経営計画について(共通)	9 - 30
23	人事運用の自立化について(共通)	9 - 30
24	人件費抑制施策について(共通)	9 - 30
25	行政コスト計算書の作成と活用について(共通)	9 - 30
(出資団体のあり方について)		
26	生涯学習センターの利用状況等及び今後のあり方について	9 - 33
27	県民会館の利用状況等及び今後のあり方について	9 - 37

財団法人 群馬県教育文化事業団

概要

1 設立経緯

財団法人群馬県教育文化事業団（以下、「事業団」という。）は、地域の特色ある文化の発掘、個性豊かな群馬の文化づくりをするために、群馬県文化事業団として昭和55年3月に設立された、県がほぼ100パーセント出資している公益法人である。

昭和60年6月に群馬県教育文化事業団と改称し、その後、財団法人群馬県民会館（昭和46年4月設立し、管理運営を受託）と平成11年11月に統合した。

県から管理運営を受託している施設は下記のとおりである。

昭和46年4月 群馬県民会館

昭和62年10月 群馬県生涯学習センター

2 設置目的

事業団は、優れた芸術を鑑賞する機会の提供と個性豊かな群馬の文化づくり及び生涯学習の風土づくりを通して、県民の創造的な文化活動及び生涯にわたる自主的な学習活動を支援するとともに、群馬県生涯学習センター及び群馬県民会館の管理運営を行い、もって、群馬県の文化の発展と明るく潤いと活力に満ちた県民生活の実現に寄与することを目的とする。

3 事業の概要

事業団は、上記の目的を達成するため、次の事業を行っている。

- (1) 伝統文化の保存継承と新しい文化の創造
- (2) 音楽、演劇、舞踊、美術、文芸、講演等芸術文化の振興
- (3) 学習・文化情報の提供と生涯学習の推進
- (4) 生涯学習及び文化に関する調査研究、資料の展示並びに広報・普及
- (5) 学習・文化団体の支援と学習・文化活動の促進
- (6) 群馬県から委託された群馬県生涯学習センターの管理運営
- (7) 群馬県から委託された群馬県民会館の管理運営
- (8) その他この法人の目的を達成するのに必要な事業

4 平成15年度の主な事業実績

(単位：千円)

事業名	事業概要	決算額
(1)ぐんま郷土芸能活性化事業	県内各地で保存、継承されてきた郷土芸能の振興を核とした地域づくりを推進した。伝統芸能振興会議 広報紙発行 一般教養講座連続7回実施 義太夫講座32回 歌舞伎体験教室等	3,394
(2)オペラ「みづち」東京公演	「第16回国民文化祭・ぐんま2001」において制作したオペラ「みづち」を、日本オペラ振興会との共催により、日本のオペラの殿堂である新国立劇場で公演した。県内外にその真価を問うとともに「自然との共生」をテーマにして、美しいふるさとへの思いと、自然を守るメッセージを全国に向けて発信した。	13,855
(3)県展(美術展、書道展、写真展、華道展、大茶会)	5部門ともに各協会と共催し、美術展、書道展、写真展、華道展については、県民公募の入選作品および会員、委員、委嘱作家、県内各流派等の作品を展示した。大茶会については、県内各流派と高校生の点前を披露した。	5,040
(4)第41回群馬県文学賞選奨	公募した平成14年7月1日から15年6月30日までの間に発表された作品、短歌1,170首、俳句1,650句、詩155編、小説140編、評論・随筆31編、児童文学55編から評論部門を除く6部門の受賞作品が選奨された。	2,026
(5)生涯学習データバンク室運営	県民の生涯学習を迅速かつ適切に支援できるよう「まなびねっとぐんま(群馬県生涯学習情報提供システム)」のセキュリティ対策の向上、情報の入れ替えなどを行い、システムの整備・充実を図るとともにインターネット・タッチパネル・FAX・i-mode対応携帯電話による情報提供を実施。	42,959
(6)群馬キャリアアップ支援事業 ～自分のキャリアは自分でつくる～	高齢化・成熟化の進展、社会経済システムの転換等を背景として、個人の豊かな人生の実現に向けて、生涯学習の観点から個人のキャリアアップを支援するため、「群馬キャリアアップ支援事業検討懇談会」を設置し、センターの役割や全県的な支援体制等を研究協議した。また、その検討結果を学習情報誌「生涯学習ぐんま」に、「特集・キャリアデザインの支援」としてまとめ、関係機関・団体等へ送付した。	509

(7)生涯学習基礎調査	完全学校週 5 日制の実施に伴い、県・市町村・関係機関等の実施する青少年対象事業の実態、情報提供方法、広域的サービス提供の可能性等を調査し、報告書「青少年の学校外活動に対応した社会教育事業の実態調査」としてまとめ、関係機関へ送付した。	365
(8)あなたがつくる生涯学習講座	生涯学習に関する自主講座の企画・立案と、その運営・実施を通して、県民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習講座を企画・運営できる民間有志指導者の養成講座を県内 2 会場で出前方式により実施した。また、本講座の具体的な取組や成果・課題等を実践集としてまとめ、関係機関に配付した。	659
(9)県視聴覚教育メディア研修カリキュラム	視聴覚教育メディアの最新の動向、専門的な知識と技術、初心者への指導の仕方、研修の企画等の研修を通し、本県視聴覚教育の中核的な指導者を養成した。	407
(10)おもしろ科学教室	青少年の学校外活動の充実を図るとともに、「科学する心」を育むため、県内各地の関係機関と連携して科学実験・科学工作・野外観察などの体験活動を全県的に実施した。	395
(11)生涯学習センター施設整備、充実	生涯学習センター施設、設備の供用及び使用料の出納などを、県教育委員会から受託し、適正な管理運営に当たった。また、県の生涯学習の中核施設として、来館者に安全、快適な生涯学習活動の場の提供とインフォメーション等のサービスの一層の向上に努めた。	73,278
(12)ぐんま伝統歌舞伎	地域に残る伝統歌舞伎を上演することにより、伝統文化の保存・継承を図った。出演・演目 利根沼田水上歌舞伎「仮名手本忠臣蔵七段目 祇園一力茶屋の場」 赤城村文化協会古典芸能部「奥州安達原三段目 袖萩祭文の場」 渋川半田歌舞伎坂東座「良弁杉春日の由来 二月堂の場」	828
(13)ぐんま郷土芸能助っ人塾(第一期 県央ぐんま文化塾)	県内各地に残されている農村歌舞伎・人形芝居などの自主公演を通じて郷土芸能をプロデュースできる人を育てる塾。今年度は会館の事業に参加しながら裏方の仕事を学んだ。	823
(14)プラハ国立歌劇場オペラ「トスカ」	「蝶々夫人」、「ラ・ボエーム」と並び世界的に人気のあるプッチーニの三大オペラの一つ。マリア・グレギーナ主演	25,065

(財)群馬県教育文化事業団

(15)施設の整備、充 実	県民会館施設・設備の供用、維持管理業務及び使用料の 出納などの貸館業務並びに路上駐車対策を県教育委員会 から受託し、適正な管理運営に当たったほか、県内公立 文化施設の発展とネットワークづくりに努めた。	129,682
------------------	---	---------

5 施設の概要

(所有者：群馬県)

施設名	群馬県生涯学習センター	群馬県民会館
設置・開設	設置 昭和 62 年 10 月 1 日 開設 昭和 62 年 10 月 28 日	設置 昭和 46 年 4 月 1 日 開設 昭和 46 年 10 月 29 日
施設所在地	前橋市文京町 2 - 19 - 18	前橋市日吉町 1 - 10 - 1
敷地面積	32,811.62 m ²	19,949.09 m ²
建物延床面積	(4 階建) 10,360.28 m ²	(地下 1 階地上 5 階建) 13,503.27 m ²
施設内容	科学展示室、作品展示室、多目的ホ ール、プラネタリウム、視聴覚室、 その他会議室、研修室、体育館 駐車場 250 台	大ホール 1,997 席、小ホール 499 席 会議室 (10)、展示室、リハーサル 室、駐車場 280 台
建物取得価額	2,307,574 千円	3,802,270 千円

6 組織

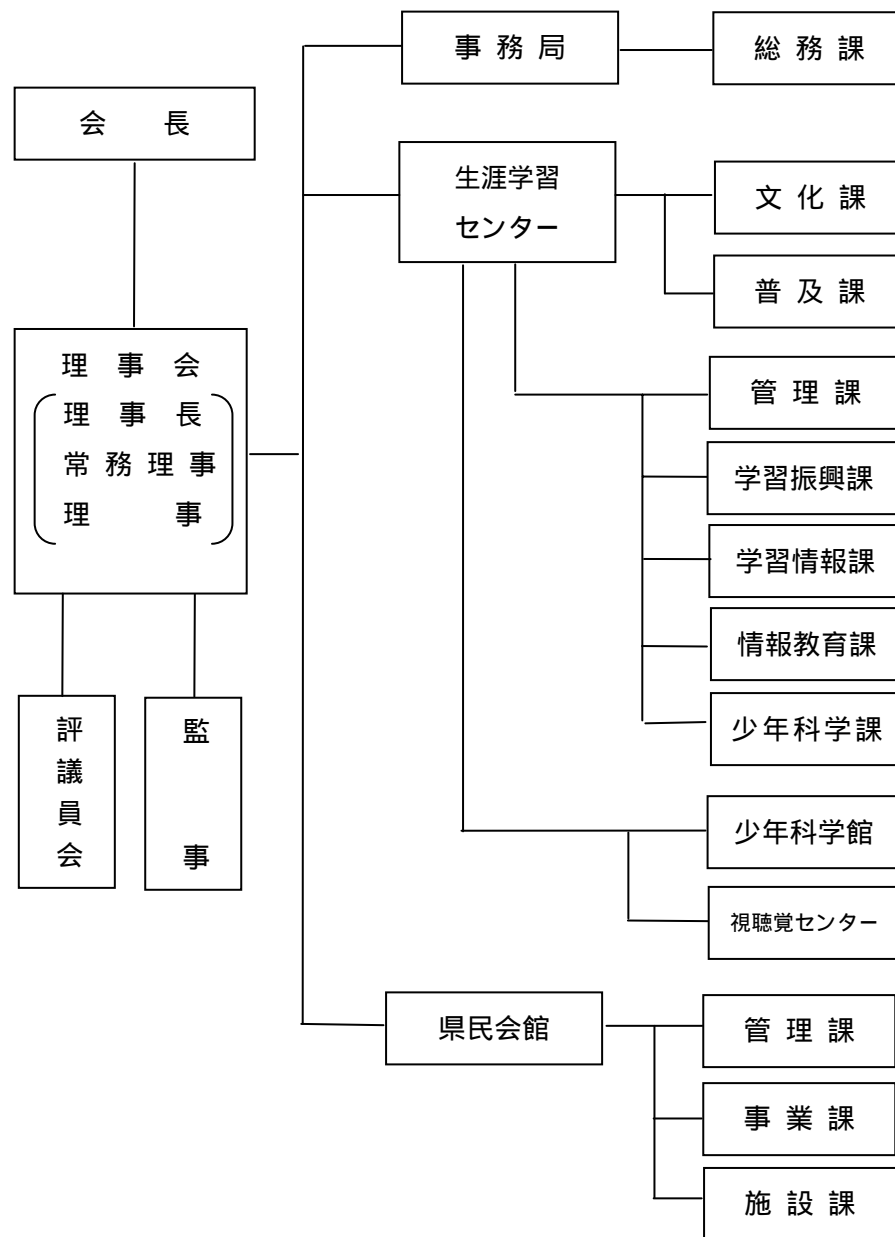
(1)人員構成

(平成 16 年 3 月 31 日現在) (単位:人)

区 分		一 般	県 現 職	県 退職者	県派遣	プロパ ー職員	嘱託 職員	合計	
役 員	理 事 長	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	
	常 務 理 事	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	
	理 事	12(12)	2(2)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	16(14)	
	監 事	0(0)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	
	小 計	12(12)	4(4)	4(0)	0(0)	0(0)	0(0)	20(16)	
職 員	事 務 局	事務局長	0	0	0	1	0	0	1
		総務課	0	0	0	2	3	2	7
	生涯学習 センター	副館長	0	0	0	1	0	0	1
		職員	0	0	0	23	5	16	44
	県民会館	副館長	0	0	0	1	0	0	1
		職員	0	0	0	2	20	0	22
	小 計	0	0	0	30	28	18	76	
合 計	12(12)	4(4)	4(0)	30(0)	28(0)	18(0)	96(16)		

補足事項... ()内は、非常勤役員数である。

(2)組織図



7 県との関係

(1) 出資

(単位：千円)

出資先	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
群馬県	254,000(99.7%)	257,000(99.7%)	259,400(99.7%)
群馬県以外	650(0.2%)	650(0.2%)	650(0.2%)
合計	254,650(100.0%)	257,650(100.0%)	260,050(100.0%)

補足事項... () は、出資比率である(小数点2位以下は切捨て)。

(2) 県からの補助金

(単位：千円)

施設別	補助の内容	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
生涯学習センター	管理費補助	317,322	633,881	618,020
	助成金	1,920	1,920	1,920
県民会館	管理費補助	90	100	66
合計		319,332	635,901	620,006

補足事項... 事業団の人件費は、ほぼ生涯学習センター管理費補助金により賄われている。

助成金は、芸術文化振興基金助成金(県展山崎記念特別賞)である。

(3) 県からの委託料

(単位：千円)

施設別	所管課	委託の内容	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
生涯学習センター	文化課	県民芸術祭事業費	91,458	75,764	54,752
		文化塾事業費	2,831	1,686	5,515
	生涯学習課	施設管理委託費	89,560	82,456	80,231
		各種事業費	0	124,816	74,663
	地域創造課	各種事業費	0	675	3,634
県民会館	文化課	施設管理委託費	137,974	131,495	129,682
		受託事業費	44,089	44,442	46,540
		路上駐車対策費	2,459	1,083	3,723
合計			368,371	462,417	398,740

補足事項...平成 14 年度生涯学習課事業費 124,816 千円には、固定資産の取得額 20,381 千円が含まれている。

8 財務の状況

事業団の計算書類は、一般会計と特別会計（県民会館自主事業）に分かれているが、便宜上総括表のみ記載し、また、科目についても要約して表示してある。

(1) 収支計算書総括表

(単位：千円)

科 目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	-
基本財産運用収入	375	1,021	675	-345
生涯学習センター管理等収入	520,623	935,363	859,700	-75,663
自主事業収入	1,809	2,110	2,318	208
補助金収入	319,242	635,801	619,940	-15,860
受託事業収入	193,844	295,589	237,122	-58,467
雑収入	5,727	1,862	318	-1,544
県民会館管理運営収入	210,366	200,185	200,325	140
自主事業収入	20,427	16,501	13,015	-3,486
補助金収入	90	100	66	-34
受託事業収入	186,977	179,475	182,400	2,924
県受託事業収入	44,088	44,441	46,539	2,097
県管理受託収入	137,974	131,495	129,682	-1,813
路上駐車防止受託収入	2,458	1,083	3,723	2,639
民間受託事業収入	2,455	2,455	2,455	0
雑収入	2,871	4,108	4,844	735
寄付金収入	200	0	0	0
基本財産収入	3,000	3,000	2,400	-600
特定預金取崩収入	0	22,832	16,790	-6,041
繰入金収入	14,396	12,148	12,410	261
当期収入合計	748,960	1,174,550	1,092,302	-82,248
前期繰越収支差額	19,853	26,243	25,276	-967
収入合計	768,813	1,200,794	1,117,579	-83,215
生涯学習センター管理等支出	517,214	942,158	878,667	-63,490
自主事業費	6,044	6,909	6,729	-179
受託事業費	193,844	277,414	237,122	-40,291
管理費	317,324	657,835	634,815	-23,019
人件費	312,476	652,417	627,285	-25,131
その他	4,848	5,418	7,530	2,112
県民会館管理運営支出	207,960	197,830	199,914	2,084
自主事業費	23,348	22,914	19,903	-3,011
受託事業費	44,088	44,441	46,539	2,097
管理費	138,064	129,390	129,748	357
路上駐車防止支出	2,458	1,083	3,723	2,639
固定資産取得支出	0	20,380	0	-20,380
特定預金支出	3,000	3,000	2,400	-600
繰入金支出	14,396	12,148	12,410	261
当期支出合計	742,570	1,175,517	1,093,392	-82,125
当期収支差額	6,390	-967	-1,089	-122
次期繰越収支差額	26,243	25,276	24,186	-1,089

(2) 正味財産増減計算書総括表

(単位：千円)

科 目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	-
資産増加額	9,390	23,380	2,400	-20,980
当期収支差額	6,390	0	0	0
什器備品購入額	0	20,380	0	-20,380
基本財産積立預金増加額	3,000	3,000	2,400	-600
負債減少額	0	22,832	16,790	-6,041
退職給与引当金取崩額	0	22,832	16,790	-6,041
増加額合計	9,390	46,212	19,190	-27,022
資産減少額	2,028	26,950	22,614	-4,336
当期収支差額	0	967	1,089	122
減価償却額	2,028	3,151	3,430	279
什器備品除却損	0	0	1,303	1,303
退職給与引当預金取崩額	0	22,832	16,790	-6,041
減少額合計	2,028	26,950	22,614	-4,336
当期正味財産増減額	7,361	19,262	-3,423	-22,685
前期繰越正味財産額	282,793	290,155	309,417	19,262
期末正味財産合計額	290,155	309,417	305,993	-3,423

(3) 貸借対照表総括表

(単位：千円)

科 目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	-
資産の部				
流動資産	113,423	164,152	170,534	6,381
現金預金	102,207	163,145	165,798	2,653
未収金	11,216	1,007	4,736	3,728
固定資産	303,534	300,931	281,807	-19,124
基本財産	254,650	257,650	260,050	2,400
基本財産積立預金	254,650	137,775	90,375	-47,400
投資有価証券	0	119,875	169,675	49,800
その他の固定資産	48,884	43,281	21,757	-21,524
車輛運搬具	4,614	4,614	4,614	0
什器備品	7,634	28,015	26,692	-1,323
減価償却累計額	-9,604	-12,755	-16,166	-3,410
電話加入権	289	289	289	0
退職給与引当預金	39,622	16,790	0	-16,790
減価償却引当預金	6,328	6,328	6,328	0
資産合計	416,958	465,084	452,341	-12,742
負債の部				
流動負債	87,180	138,876	146,348	7,471
未払金	85,488	133,678	141,871	8,192
預り金	1,691	5,197	4,476	-721
固定負債	39,622	16,790	0	-16,790
退職給与引当金	39,622	16,790	0	-16,790
負債合計	126,803	155,666	146,348	-9,318
正味財産の部				
正味財産	290,155	309,417	305,993	-3,423
正味財産合計	290,155	309,417	305,993	-3,423
負債及び正味財産合計	416,958	465,084	452,341	-12,742

(4)重要な会計方針

固定資産の減価償却	定額法による減価償却を実施している。
退職給与引当金	退職給与引当金は、過去においては計上していたが、現在は繰入計上を停止している。
資金の範囲	資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金及び預り金を含めている。
消費税等の会計処理	消費税等の会計処理については、税込経理方式を適用している。

(5)5年間の収入の推移

(単位：千円)

科目	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
(生涯学習センター)					
補助金収入					
県補助金収入	90,843	92,605	317,322	633,881	618,020
芸術文化振興基金助成金	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920
補助金収入計	92,763	94,525	319,242	635,801	619,940
事業収入					
文化課受託事業	63,404	66,903	94,289	77,449	60,266
生涯学習課受託事業	90,645	92,096	89,560	207,271	154,894
宝くじコンサート	10,070	10,338	9,995	10,193	14,544
地域創造課受託事業	0	0	0	675	3,634
関東経済局受託事業	0	0	0	0	3,782
事業収入計	164,119	169,337	193,844	295,589	237,122
合計	256,883	263,862	513,087	931,391	857,063
(県民会館)					
補助金収入					
県補助金収入	0	199,610	90	100	66
日本芸術文化振興会	2,000	0	0	0	0
補助金収入計	2,000	199,610	90	100	66
事業収入					
県受託事業収入	218	43,667	44,088	44,441	46,539
県管理受託収入	110,700	76,934	137,974	131,495	129,682
路上駐車防止受託収入	0	740	2,458	1,083	3,723
民間受託事業収入	0	1,228	2,455	2,455	2,455
事業収入計	110,918	122,570	186,977	179,475	182,400
合計	112,918	322,180	187,067	179,575	182,466

補足事項... 県民会館の平成12年度県補助金収入は199,610千円と多額であるが、これは、県民会館が平成11年11月に統合したことが原因であり、生涯学習センターの補助金収入92,605千円と合計した292,216千円が事業団全体としての額である。平成13年度生涯学習センターの県補助金収入は317,322千円となっているが、これは県民会館の人件費を含んでおり、以後の数値は同様である。

平成14年度生涯学習センターの県補助金収入は633,881千円と多額であるが、これは生涯学習センター職員が従来県職員であったが事業団への

派遣職員へ変更になり、当該金額を県補助金で支弁する方式になったためである。

生涯学習課受託事業が平成 13 年度 89,560 千円から平成 14 年度 207,271 千円に急増している。これは、それまで県の出先機関であったため、施設の管理受託の他には受託事業がなかったが、事業団に職員派遣しての業務委託制度に切り替えたことによって業務が急増したことによる。

県民会館の平成 12 年度県管理受託収入は 76,934 千円と低水準であったが、これは同年度に県民会館の大規模改築が行われ、事業の実施が不可能であったことによる。

(6) 収支の状況及び財政状態について

収支の状況について

平成 13 年度から平成 14 年度にかけての補助金収入及び人件費支出の急激な増加の原因は、生涯学習センター職員が従来県職員であったが、群馬県教育文化事業団への派遣職員へ変更になったことによるものである。

平成 14 年度から平成 15 年度にかけての収入、支出の減少は、県の予算削減による事業規模の縮小のためである。

平成 14 年度の固定資産取得支出は、生涯学習センター少年科学館における工作物取得支出である。

財政状態について

平成 13 年度から平成 15 年度にかけての退職給与引当金及び同引当預金の減少は、退職者（平成 14 年度 4 名、平成 15 年度 3 名）の退職金の一部に充当したことによるものである。

平成 14 年度及び平成 15 年度における投資有価証券の増額は、基本財産積立預金を国債及び地方債に運用したことによるものである。